

飾り方と飾りの名前と意味

- ①内裏雛…内裏(宮中)の天皇皇后の姿になぞらえた人形。古式では左を貴いとしてきましたが、昭和天皇の即位式以降は、向かって左が男びな、右に女びなが一般的となりました。

※京都を中心とした関西では、今日も古式を重んじて、向かって右に男びな、左に女びなを飾ることが多い

- ②屏風…江戸風の飾りです。京風では、天皇の即位式が行われる京都御所の紫宸殿を模して御殿を飾ります。

- ③雪洞

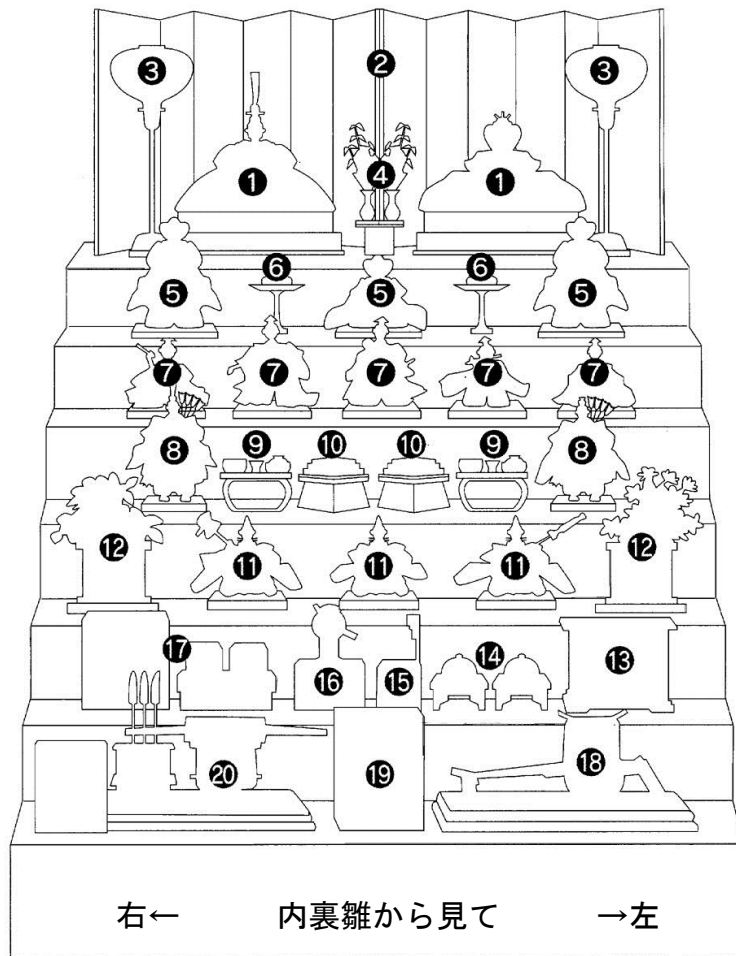
- ④三方揃い…三方にのせた桃花酒は桃の花びらを酒に浸したものです。これを飲むと顔色が良くなり、ありとあらゆる病気を取り除くと信じられていました。

- ⑤三人官女…宮仕えの女官(内裏雛のお世話係、ご相談係)。向かって右から長柄銚子(本酌)、盃、加銚子(従酌)の順に並べます。

- ⑥高坏…高坏にのせた紅白の丸餅は赤が魔除け白は清浄を表しています。

- ⑦五人囃子…能楽の囃子方に地謡を加えた編成。向かって右から謡、笛、小鼓、大鼓、太鼓の順に並べます。

- ⑧隨身…内裏雛をお守りする警護の人。内裏雛から見て左側に白いひげの左大臣、右側に若い右大臣を並べます。



- ⑨膳…内裏雛へのお供え。一汁三菜の椀揃いになっています。

- ⑩菱台…雛に供える菱餅をのせる台。菱餅は女兒初節句に親族・知人からいただいたお祝いのお返しにも用いられました。

- ⑪仕丁…衛士とも呼ばれ雑役を行う人。向かって右から立傘・沓台・台笠の順に並べます。内裏雛が外出される際のお付の姿。

- ⑫桜・橘…内裏雛から見て左側に「左近の桜」、右側に「右近の橘」を並べます。京都御所の紫宸殿東側に桜、西側に橘が植えてあったことに由来します。

- ⑬茶道具

- ⑭火鉢

- ⑮針箱

- ⑯鏡台

- ⑰三つ揃い(筆筒・長持、挟箱)

…嫁入り道具一式が模型化されたものです。時代や作り手によって異なります。

- ⑱御所車

- ⑲重箱

- ⑳女乗物(駕籠)

…乗り物と節句の料理を入れる重箱が並びます。